

# オホーツク圏経済情勢報告(令和8年1月判断)

令和8年2月 公表

財務省北海道財務局北見出張所

# 目 次

概況	.....	2
1. 個人消費	.....	3、4
2. 観光	.....	5
3. 雇用	.....	6
4. 公共事業	.....	7
5. 住宅着工	.....	7
【参考】金融	.....	8

## ○利用上の注意

- 1 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- 2 本指標は、管内分の数値等を算出するため、公表数値等を当所が独自に集計及び調整したものであり、公表元の数値と必ずしも一致しない部分があります。  
また、公表数値が不定期に改訂されることもあります。

## ○符号の用法は次の通りです。

「0」～単位未満      「－」～該当数値なし      「R」～改訂値      「▲」～マイナス      「P」～速報値

総括判断

前回（7年10月判断）	前回比較	今回（8年1月判断）
持ち直しつつある	➡	持ち直しつつある

※ 判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、11期連続

各項目の判断

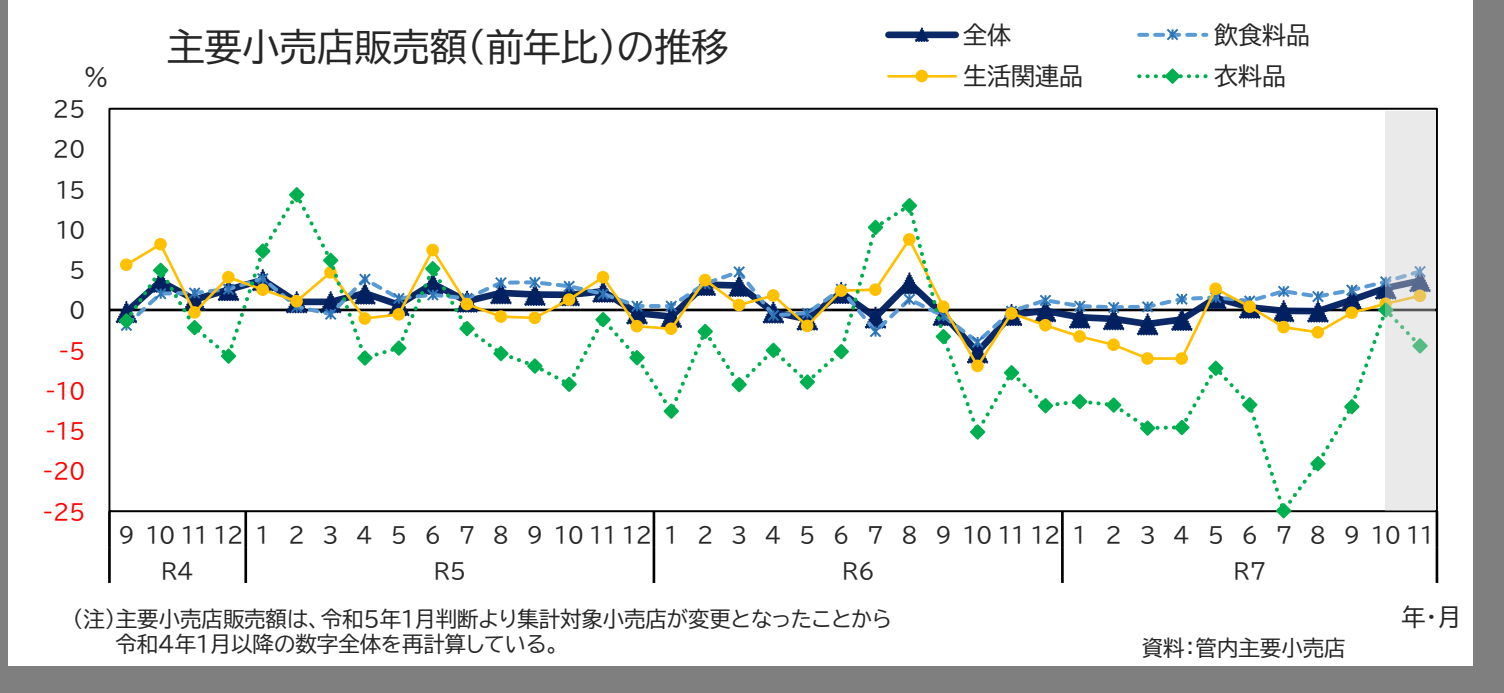
	前回（7年10月判断）	前回比較	今回（8年1月判断）
個人消費	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	↗	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある
観光	緩やかに回復している	➡	緩やかに回復している
雇用	緩やかに持ち直しつつある	➡	緩やかに持ち直しつつある
公共事業	前年を上回る	↘	前年を下回る
住宅着工	前年を上回る	↘	前年を下回る

先行き

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

(注)8年1月判断は、前回10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

◆「主要小売店販売額」は、飲食料品が引き続き堅調だったことから、前年を上回っている。



【前年同期比(10-11月)】

全体 : + 3.2%  
飲食料品 : + 4.2%  
生活関連品 : + 1.3%  
衣料品 : ▲ 2.3%

【販売額構成比(10-11月)】

飲食料品 : 73.0%  
生活関連品 : 22.5%  
衣料品 : 4.5%

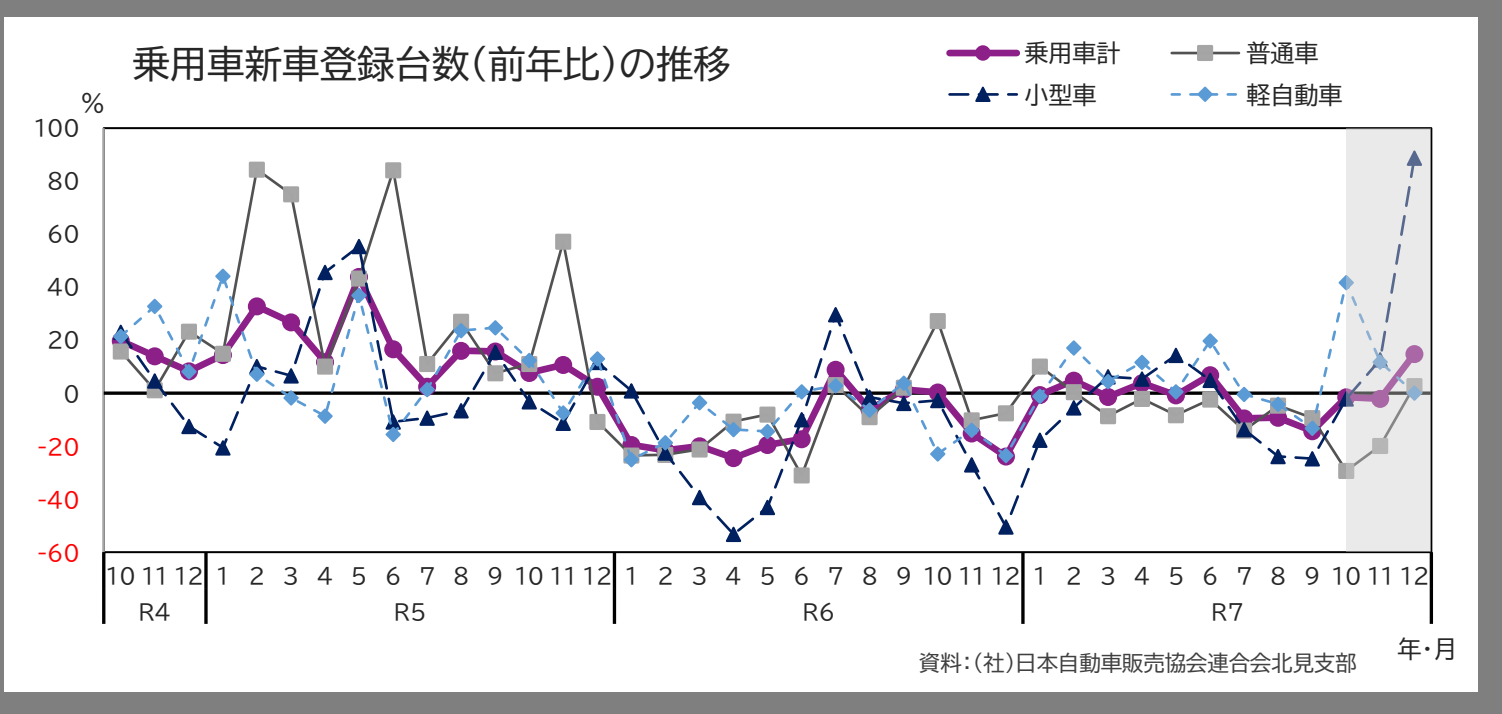
》》 動向

- 飲食料品は、引き続き総菜や冷凍食品を中心に好調だったことから、前年を上回っている。
- 生活関連品は、寝具などの高額商品の売れ行きが好調だったことなどから、前年を上回っている。
- 衣料品は、紳士服や防寒服などが低調だったことなどから、前年を下回っている。

》》 企業・関係団体からの生の声(大型小売店)

- 青果において、天候不順で一時的に商品(キャベツ、白菜、大根など)が値上がりしたため、比較的安価な冷凍野菜で代替する動きが見られた。
- 総菜は、節約志向の高まりから、割安な大容量パック商品を中心に売れ行きが好調である。
- 卵は、国内で発生している鳥インフルエンザの影響で価格が高騰し、商品によっては300円台のものもあるが、店頭に並ぶと売り切れる状況である。
- 円安の影響により、輸入肉と国産肉の価格差が縮まっている。また、比較的安価だった鶏肉については、鳥インフルエンザの影響により値上がりしており、豚肉と変わらない価格になってきている。
- ブラックフライデーのセールもあり、生活関連品では寝具などの高額商品の売れ行きが好調だったほか、衣料品においても、礼服の売上が良かった。
- 引き続き、特売日に特売品のみまとめ買いする消費行動が見られる。

◆「乗用車新車登録台数」は、小型車及び軽自動車の増加により、前年を上回っている。



【前年同期比(10-12月)】

乗用車計	：	+ 2.5%
普通車	：	▲ 17.7%
小型車	：	+ 20.9%
軽自動車	：	+ 18.3%

【構成比(10-12月)】

普通車	：	36.4%
小型車	：	23.4%
軽自動車	：	40.2%

≫ 動向

- 普通車は、前年を下回っているものの、小型車及び軽自動車が前年を上回っていることから、乗用車全体では前年を上回っている。
- 新車登録台数の構成比をみると、普通車が減少傾向にある一方、軽自動車が増加傾向にあり、40%を超えている。

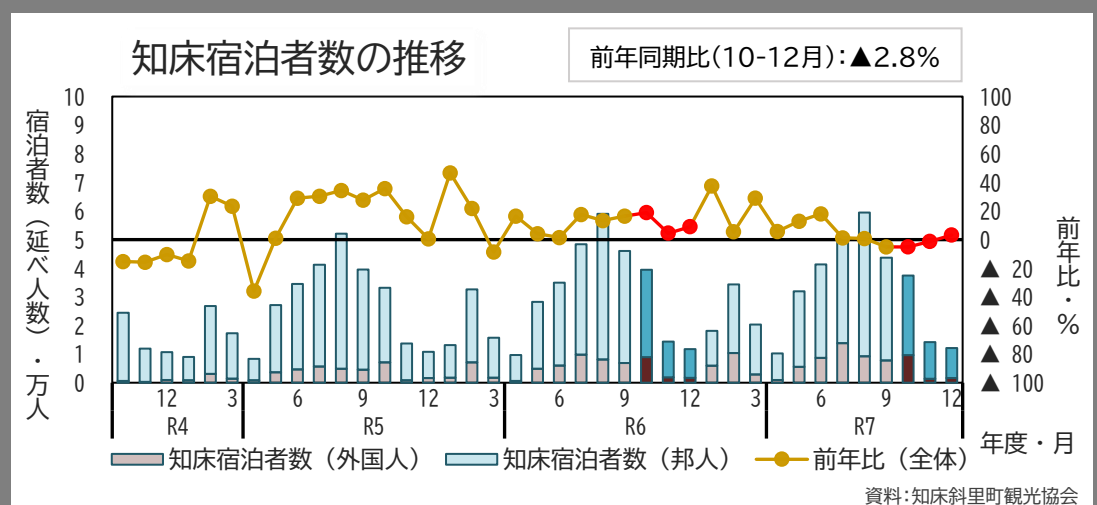
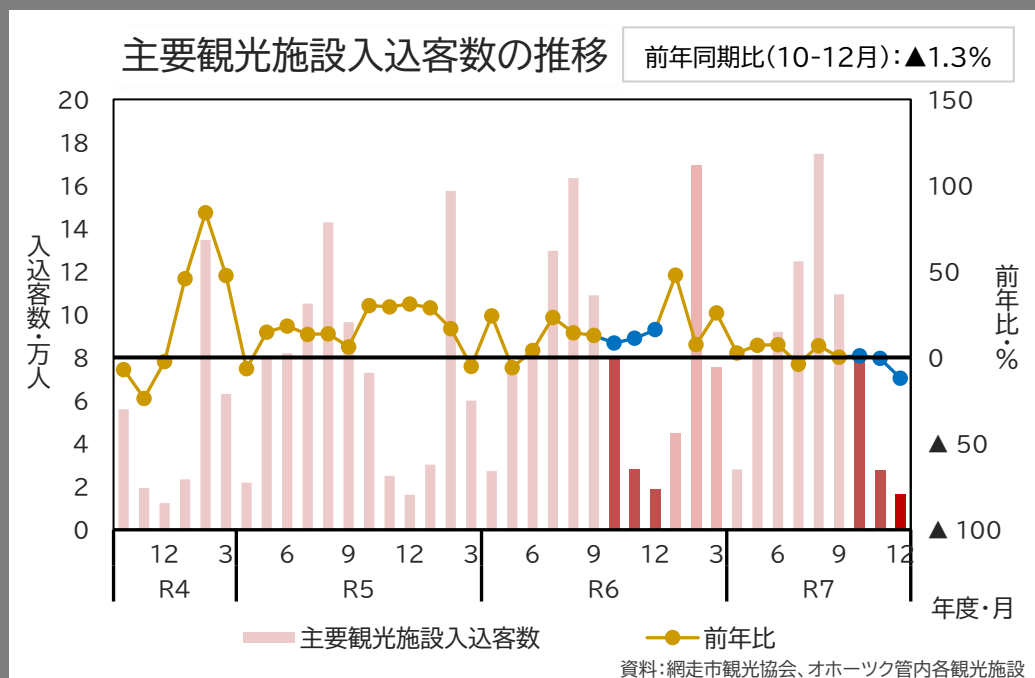
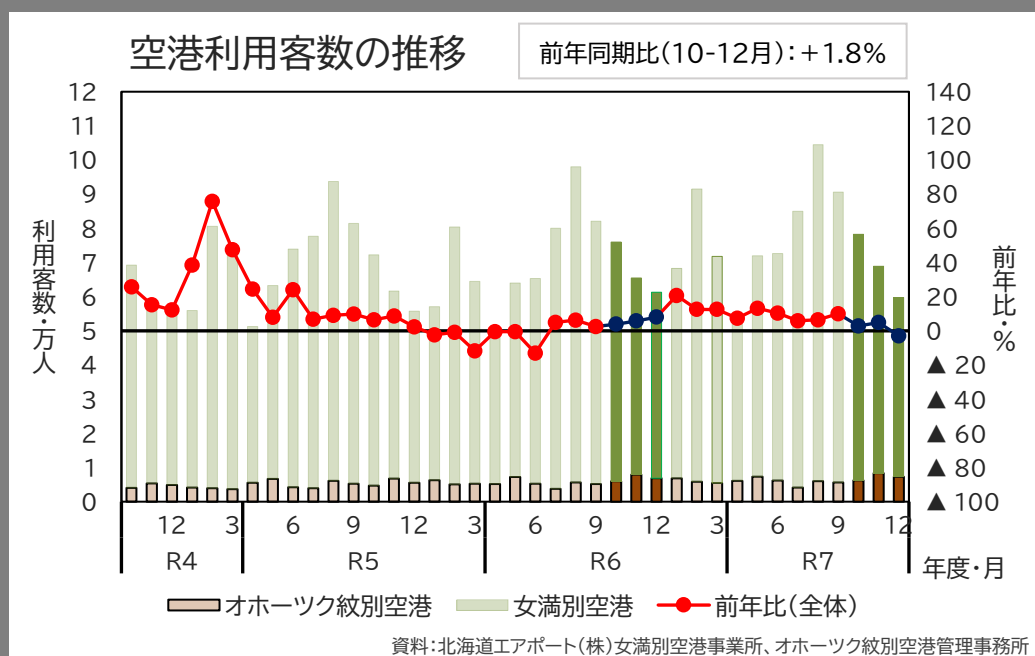
≫ 企業・関係団体からの生の声

- 消費者の節約志向が続く中、支払方法として残価設定型クレジットなどのキャンペーンが利用されることが多く、毎月の支払額を少しでも抑えようとする動きが見られる。(自動車販売業)
- 物価高に伴う自動車価格の上昇により、一部では、買い替えを躊躇する人や普通車から軽自動車に乗り替える人が見られるなど、自動車に費用をかけない人が多くなっているように思われる。(自動車関連団体)
- 昔に比べ自動車性能が向上したことにより、既存客の買い替えサイクルが長期化している。(自動車関連団体)
- 日曜日を定休日とするディーラーが増えていることから、受注の減少に繋がっていると考えられる。(自動車関連団体)



～緩やかに回復している～

観光は、道内客の減少などにより、主要観光施設入込客数及び知床宿泊者数で前年を下回っている。



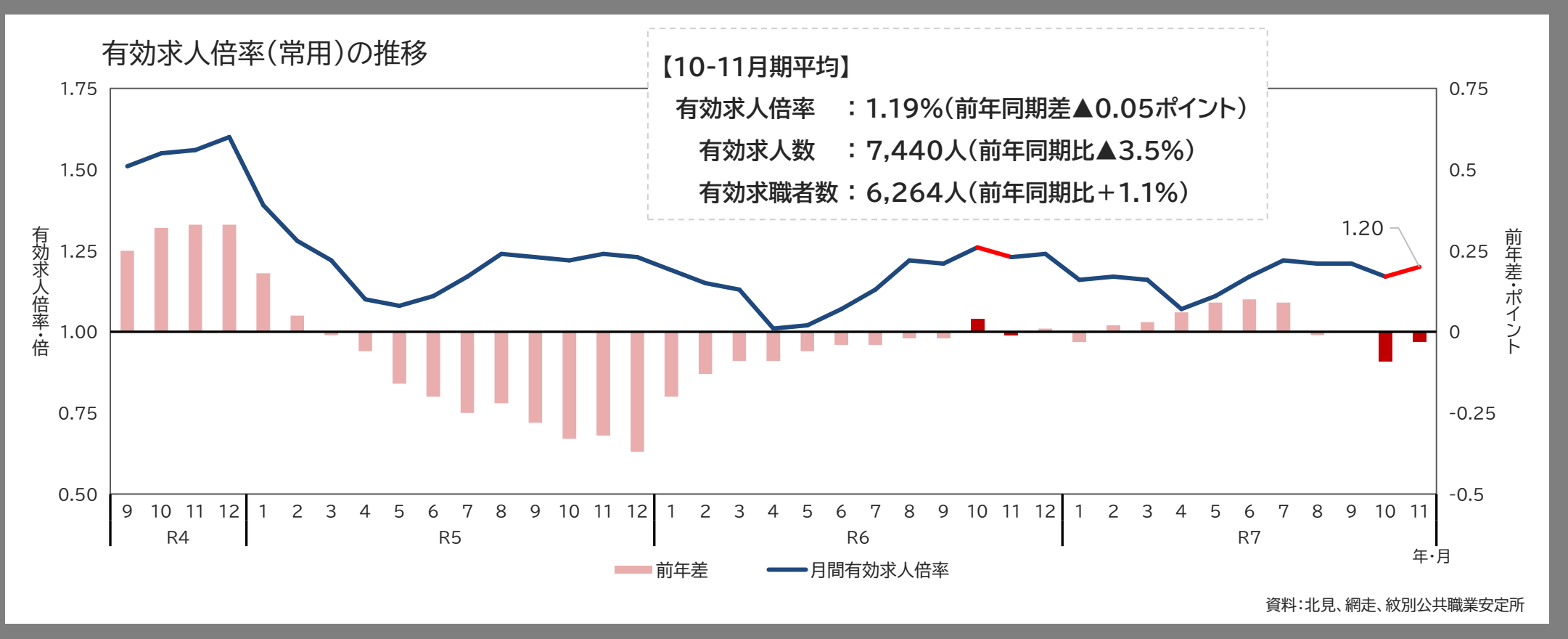
## >> 動向

- 空港利用客数は、提供座席数は減少したものの、搭乗率が上昇したことにより、前年を上回っている。
- 主要観光施設入込客数は、海外客の減少などにより、前年を下回っている。
- 知床宿泊者数は、道内客の減少により、前年を下回っている。

## 》》 企業・関係団体からの生の声

- 道内客については、物価高の影響から、宿泊料金の高い地域の旅行を避ける傾向が見られ、前年に比べ減少している。(知床地区・宿泊施設)
- 道外客については、知床五湖の紅葉やネイチャーツアーなど、知床での観光体験を目的に往訪が増え、入込は堅調であった。(観光協会)
- 海外客については、引き続き根拠のない大災害予言の影響で香港からの宿泊者及び入込客がともに減少している。(観光協会)
- 12月の大雪による影響で、一部の観光施設では臨時休館となり、入込客数が減少している。(観光協会)
- 中国人観光客は、渡航自粛要請直後は減少したと感じたものの、足下では個人客は堅調であり、例年並みの入込がある。(知床地区・観光施設)
- 昨年度は、春節が早まり、観光客の入込が早かったにもかかわらず、流氷最盛期においても入込客に落ち込みは見られなかった。今年度は、春節が流氷最盛期と重なるため、昨季に比べると入込の期間が短くなることから、昨年度を下回る見込みである。(知床地区・宿泊施設)

有効求人倍率は、有効求人数が減少し、有効求職数が増加したことから、前年を下回っている。

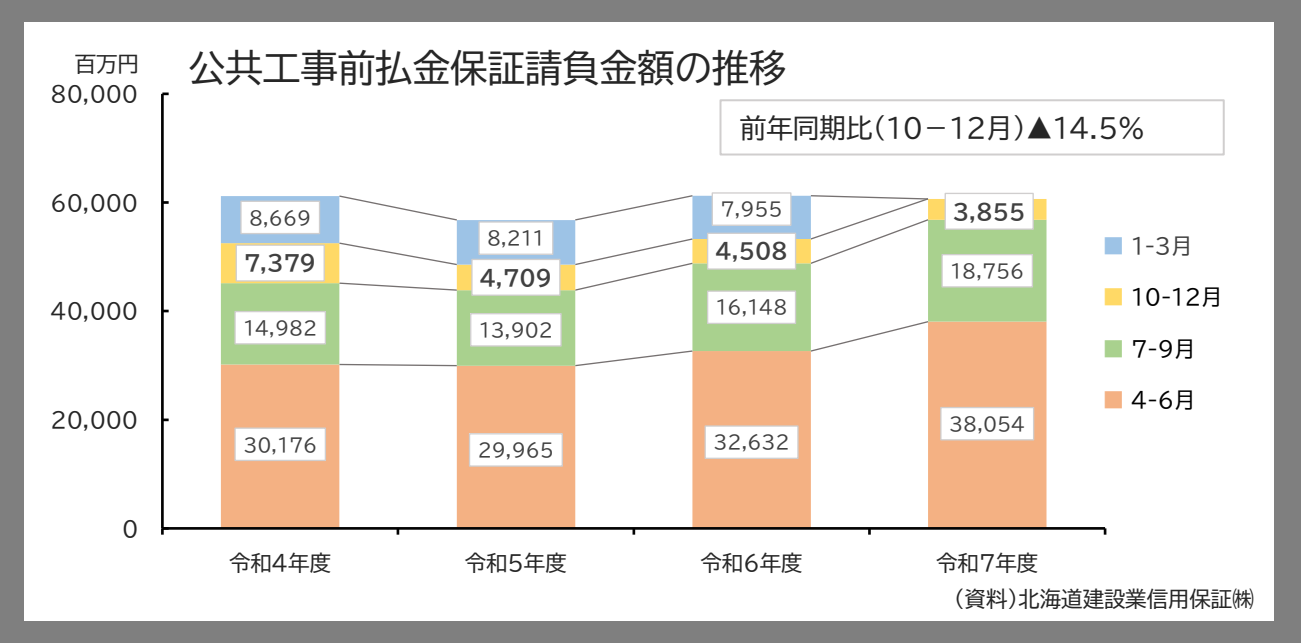


》》 企業・関係団体からの生の声

- パートの求人が減っている。これは、働き方が多様化してきたことなどから、スキマ時間でスポット的に働く人が増えており、若者を中心に求人サイトの利用が増えているためと考えられる。(公共職業安定所)
- 資格が必要な業種、特に医療・福祉関係の求人が多い一方、求職では、事務職が多いため、雇用のミスマッチが生じている。(公共職業安定所)
- 中国からの技能実習生を雇っているが、日中関係の緊張が高まっていることから、今後の募集に支障が出ないか危惧している。(食料品加工業)
- 人手不足であるため省人化の必要性を感じており、今後はAIを活用し作業効率を上げていきたいと考えている。(食料品製造業)
- 求人サイトを見て応募してくる外国人もいるが、ビザの手続きや日本語教育など対応に手間がかかるため、採用を断るケースも増えている。(観光業)
- 地域の雇用を守るという姿勢で採用活動を行っており、利益を第一に考えるような人員整理は行っていない。(製造業)

4. 公共事業 ～前年を下回る～

公共工事前払金保証請負金額は、前年を下回っている。

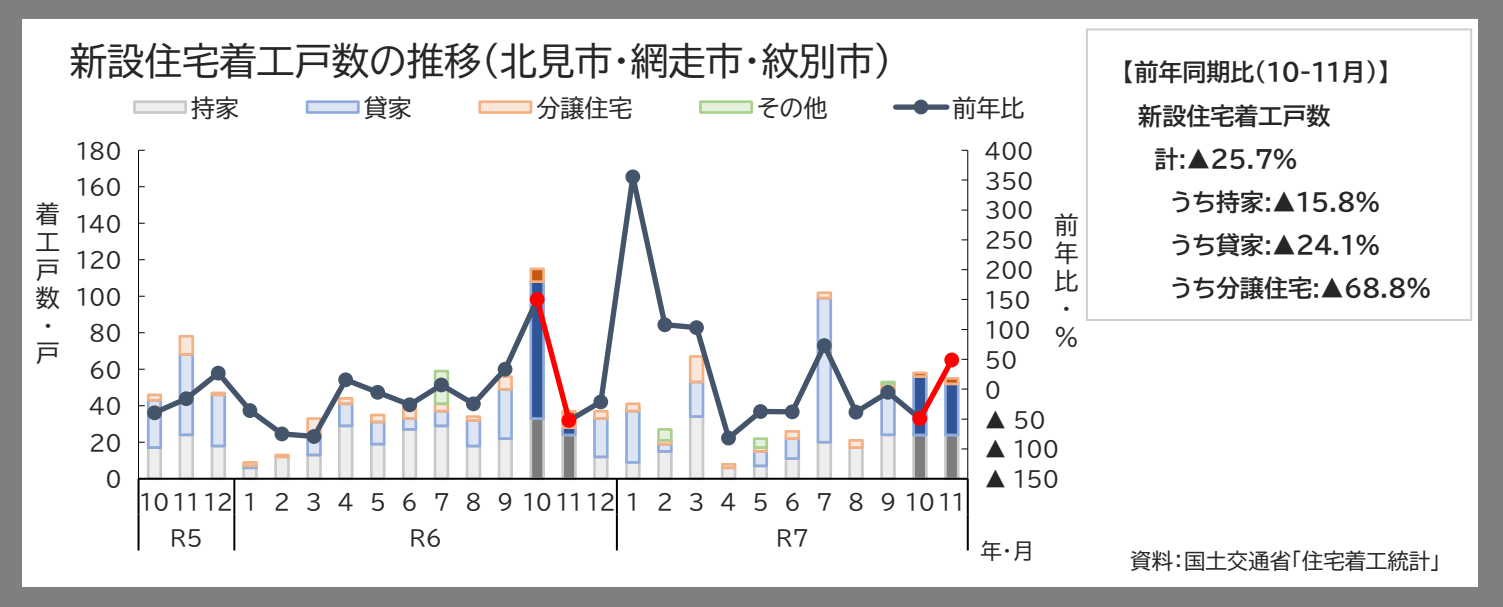


》企業・関係団体からの生の声

- 建築工事においては、新規建替えを行うよりも既存の建物の維持更新を行う傾向が強いのではないかと感じる。(建設業)
- 土木工事においては、設計単価が上昇する中、公共工事の予算縮小などから、1件当たりの工事規模が縮小している。(建設業)
- 50～60代が従業員全体の6割程度を占めており、人材の高齢化が進んでいる。人材は慢性的に不足している。(建設業)

5. 住宅着工 ～前年を下回る～

管内3市の新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を下回っている。

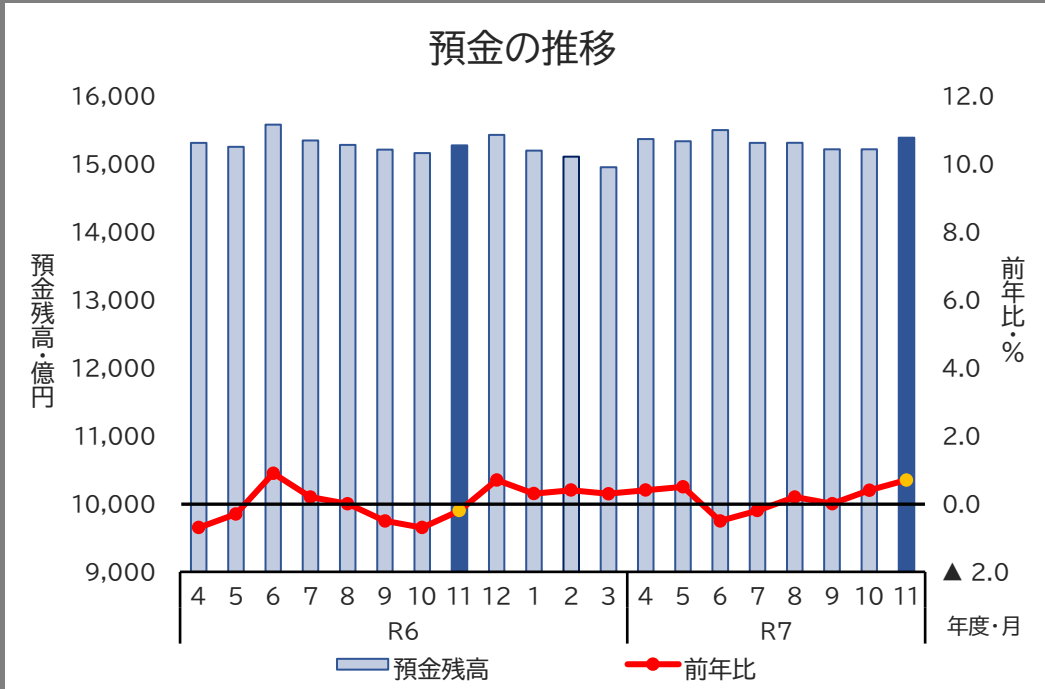
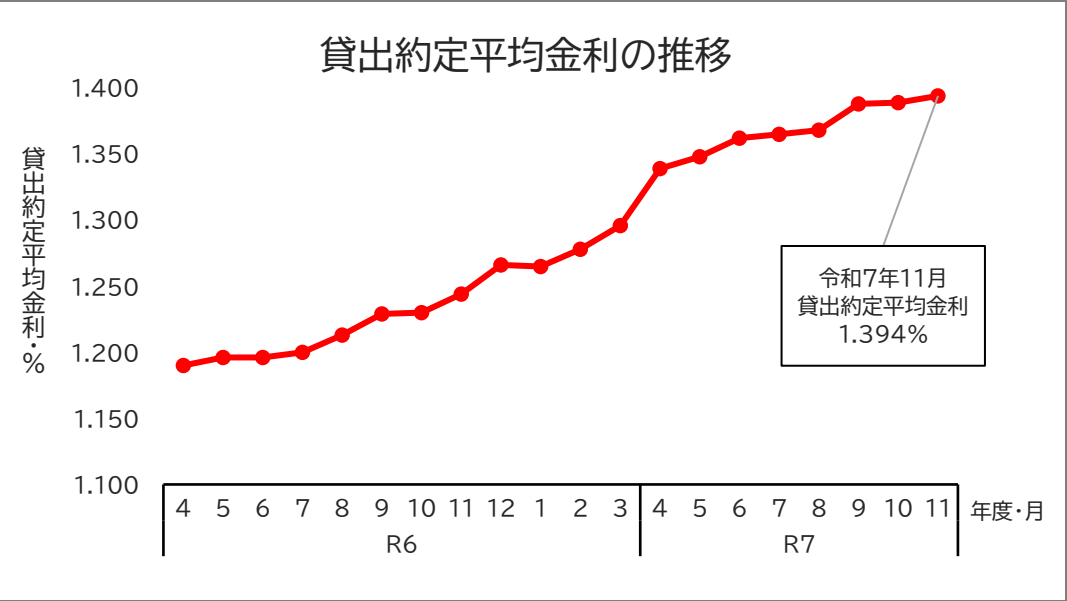
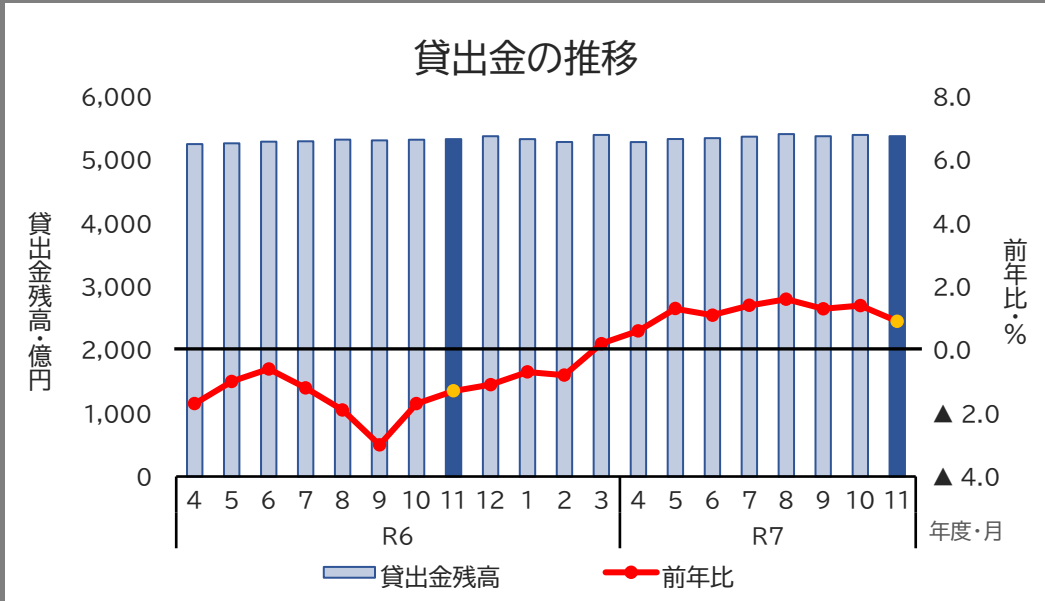


》企業・関係団体からの生の声

- 令和7年4月の建築基準法改正により、着工スケジュールに影響を及ぼすこともあるなど、建築会社によっては人繰りに困るケースもあると聞いている。(金融機関)
- 住宅価格の高止まりに加え、金利負担なども考え、新築住宅をあきらめ、中古住宅を購入する動きがみられる。(金融機関)
- 月々の返済負担を減らすため、40年以上の住宅ローンを選択する顧客が増えている。(金融機関)



貸出金残高は、地方公共団体・設備資金が増加したことから、前年を上回っている。  
預金残高は、前年を上回っている。



貸出金・預金・貸出約定平均金利の推移(銀行・信用金庫)

(単位:億円、%、ポイント)

年度	月	貸出金残高						預金残高						貸出約定平均金利	
		設備資金		運転資金		地方公共団体		前年比		前年比					
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年差		
4.	3	5,402	▲ 0.7	2,264	1.8	1,842	▲ 1.8	1,297	▲ 3.2	14,509	3.4	1.131	▲ 0.018		
5.	3	5,403	0.0	2,353	3.9	1,852	0.6	1,198	▲ 7.6	14,681	1.2	1.148	0.017		
6.	3	5,385	▲ 0.3	2,381	1.2	1,809	▲ 2.3	1,195	▲ 0.2	14,900	1.5	1.176	0.028		
7.	3	5,394	0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	4.4	14,949	0.3	1.296	0.120		
6.	4	5,250	▲ 1.7	2,384	1.0	1,742	▲ 2.9	1,124	▲ 5.2	15,308	▲ 0.7	1.190	0.040		
	5	5,262	▲ 1.0	2,384	1.2	1,733	▲ 3.3	1,145	▲ 2.1	15,250	▲ 0.3	1.196	0.042		
	6	5,289	▲ 0.6	2,379	0.9	1,765	▲ 1.6	1,145	▲ 2.1	15,575	0.9	1.196	0.042		
	7	5,294	▲ 1.2	2,379	1.2	1,769	▲ 3.8	1,145	▲ 2.1	15,343	0.2	1.200	0.049		
	8	5,320	▲ 1.9	2,386	1.3	1,789	▲ 5.3	1,145	▲ 2.9	15,278	▲ 0.0	1.213	0.060		
	9	5,307	▲ 3.0	2,391	1.0	1,829	▲ 6.6	1,086	▲ 4.8	15,210	▲ 0.5	1.229	0.067		
	10	5,319	▲ 1.7	2,392	1.6	1,841	▲ 5.0	1,086	▲ 3.1	15,158	▲ 0.7	1.230	0.068		
	11	5,328	▲ 1.3	2,407	2.0	1,835	▲ 4.4	1,086	▲ 3.0	15,271	▲ 0.2	1.244	0.084		
	12	5,374	▲ 1.1	2,415	1.6	1,840	▲ 4.9	1,118	▲ 0.2	15,423	0.7	1.266	0.107		
	1	5,328	▲ 0.7	2,413	1.6	1,755	▲ 5.7	1,161	2.9	15,194	0.3	1.265	0.101		
	2	5,283	▲ 0.8	2,416	1.9	1,691	▲ 7.3	1,176	3.8	15,105	0.4	1.278	0.099		
	3	5,394	0.2	2,435	2.3	1,711	▲ 5.4	1,248	4.4	14,949	0.3	1.296	0.120		
7.	4	5,282	0.6	2,453	2.9	1,666	▲ 4.4	1,163	3.4	15,364	0.4	1.339	0.149		
	5	5,330	1.3	2,452	2.8	1,676	▲ 3.3	1,202	5.0	15,332	0.5	1.348	0.153		
	6	5,346	1.1	2,447	2.9	1,698	▲ 3.8	1,200	4.8	15,494	▲ 0.5	1.362	0.166		
	7	5,367	1.4	2,431	2.2	1,736	▲ 1.9	1,200	4.8	15,308	▲ 0.2	1.365	0.165		
	8	5,408	1.6	2,440	2.3	1,768	▲ 1.2	1,200	4.8	15,309	0.2	1.368	0.156		
	9	5,376	1.3	2,435	1.8	1,803	▲ 1.4	1,138	4.7	15,212	0.0	1.388	0.159		
	10	5,392	1.4	2,442	2.1	1,811	▲ 1.6	1,140	4.9	15,215	0.4	1.389	0.159		
	11	5,375	0.9	2,447	1.7	1,791	▲ 2.4	1,138	4.7	15,384	0.7	1.394	0.151		

※管内に所在する銀行、信用金庫の本支店分の合計。（ゆうちょ銀行を含まない。）  
※R7.7判断までは、貸出金・預金それぞれ直近2ヶ月の平均月末残高を基準としていたが、R7.10判断より、直近月末残高を基準としている。  
資料：北海道財務局北見出張所

【問い合わせ先】

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

財務省 北海道財務局 北見出張所 財務課

〒090-0018 北見市青葉町6番8号 北見地方合同庁舎  
TEL 0157(24)4167

本報告は、北海道財務局北見出張所ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス：<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>

北海道財務局北見出張所

検 索



オホーッ  
クール  
cool!